

# 大阪探検隊

Osaka City Expeditionary party



# 愛・地球博

EXPO 2005 AICHI JAPAN

愛・地球博が閉幕、来場者数は目標の 1500 万人を大幅に上回る約 2200 万人と大盛況でした。「1度は行っとかなきゃ」と思い、9月の平日に行って来ました。その日の来場者数は 196,000 人。人、人、人の状況でした。

## 予想以上の大混雑！



会場までの電車(リニモ)で 30 分、会場前で 1 時間並び、開場直後の 9 時過ぎに入場できました(実際は早く開場していた)。

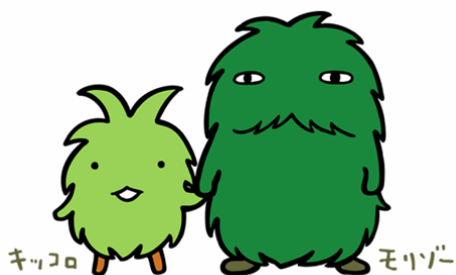
事前予約型、整理券配布型、先着順型、これらの複合型のパビリオンがあり、人気のパビリオンは既に 4~5 時間待ち又は整理券配布完了、人気のないパビリオンですら、最低でも 20~30 分待ちというすさまじさ。



1 時間かけて何とか 2 館分の整理券を確保し、冷凍マンモスは見れましたが、トヨタのロボットや世界最大の万華鏡など、他の話題のものは何も見れませんでした。

会場全景

上) 入場ゲート前の様子  
下) 冷凍マンモスに一目会おうと…



公式キャラクターは、大阪で活躍する  
アレンジ アロンゾによるもの





## グローバル・ループ



上)グローバルループ側面 右)同歩行帯

メイン会場の中央を1周する、幅21m、全長2.6kmのウッドデッキの空中回廊です。

自然の地形を生かす、リサイクルに適した材料を使う、分解・撤去・再利用が容易な構造にするという思想で設計されています。

開放的で快適な歩行空間です。屋根から霧状の水を噴き出す仕組みになっています。



## 環境配慮型の場内交通



トラム

会場内の移動手段として、電気で走る3両編成のトラム、自転車タクシーがグローバル・ループを走っています。ペロタクシー(今・人(いまじん)第3号参照)も走っていました。

また、圧縮天然ガスで走る大型低公害バス(IMTS=インテリジェント・マルチモード・トランジット・システム)が専用道路を自動運転で隊列走行しています。近未来を思わせる丸みを帯びた独特の形が印象的でした。



ペロタクシー



自転車タクシー



大型低公害バス(IMTS  
インテリジェント・マルチモード・トランジット・システム)



## バイオ・ラング



花や緑で埋め尽くされた長さ 150m、高さ 15m の巨大な緑化壁です。植物の力によって二酸化炭素の吸収・酸素の供給、ヒートアイランドの低減など、都市生活環境の改善や環境負荷の軽減を図ります。

イベント会場や表参道(東京)の工事現場の仮囲いで小規模なものを見たことがあります。効果の程は分かりませんが、将来的に街の中に増えていく予感がします。

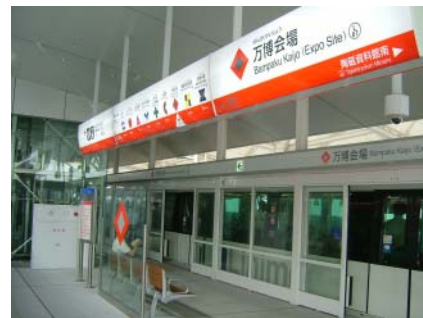
環境負荷の軽減を図るバイオ・ラング

## 感動のリニモ

最大の感動はリニモです。日本で初めて営業路線として実用化された延長 8.9km の磁気浮上式鉄道です。常時 8mm ほど浮いてます。自動運転で最高速度は 100km。

加速の速さ、振動も音も無い滑らかな走りは感動です。

ブレーキ時に少し前後に揺れますが、乗り心地は抜群です。時速 500km のリニア実験線とは全然違って良かったです。(今・人(いまじん)第 28 号参照)



上左)リニモ万博会場駅  
上右)リニモ駅のホーム  
下)リニモと軌道

自然の地形や素材を生かし、水や資源の循環を意識するなど、テーマの環境への配慮、技術のPRはしていますが、これだけ人が集中すると、満杯のゴミ箱や人々の余裕の無さなどが目立ち、環境って感じではないです。結局はただのお祭り博覧会というのが正直な感想でした。